

WE LOVE 憲法

2014/1/7 第 14 号
長崎高教組 文責 小田
info@nagasaki-kokyoso.org
TEL 095-827-5882

北から、南から、長崎から

3・29 (土)

東京・日比谷野外音楽堂へ 憲法を守り、いかす

願いと運動をもって参加しよう



安倍内閣の暴走が止まりません。

「憲法96条改正」騒動、教育再生実行会議の提言による特定の価値観を押しつける「道徳の教科化」、行政の教育支配を認める「教育委員会制度改悪」、「高校無償化所得制限導入」、国家主義を前面に出す「教科書改革実行プラン」、世論を無視した「特定秘密保護法」強行採決、日本国憲法の三原則を完全に否定する「自民党憲法改正草案」、「集団的自衛権」の行使を可能にする「国家安全保障基本法案」等々・・・。

3・29集会は、安倍「教育再生」をストップさせ、「憲法を守り、いかす」運動の集大成であり、運動に大きなうねりをつくり出す集会です。長崎から運動の成果をもって参加しよう。

【学習資料】

(1) 「アベノミクス」への期待に踊らされている間に「アベノリスク」が忍びよる

虚言マニア安倍晋三の大言壮語とバラマキ、そしてメディアの操作により「アベノミクス」に期待が膨らんでいるが、昨年7月からのわれわれの給与削減に見られる現実、ガソリン・灯油等生活関連商品の値上がりによる生活圧迫、一部大企業や富裕層のみの恩恵が「アベノミクス」の本質である。「アベノミクス」のメッキは剥がれて、「アベノリスク」(安倍政権がもたらす危険性)が顕在化し始めている。その一つは、「教育再生」の名のもとに画策されているさまざまな動きであり、日本という国のあり方を根本的に変えていこうとする「憲法改定」＝「壊憲」の動きである。その他にも、消費税増税・TPP・原発回帰・官僚の天下りなども「アベノリスク」としてあげられる。

(2) 安倍内閣の「教育再生」をめぐる情勢

①教育再生実行会議(私的諮問機関)の提言の問題点

・教員の管理、統制の強化

教員免許の「准免許」と「本免許」構想

「教育公務員倫理規定」

・教育行政の中央集権化

教育委員会制度の改悪―首長に教育権限を集中

主幹教諭の必置と「管理職養成コース」―教育現場の序列化の進行

・教育内容の国家統制

道徳の教科化

「教科書改革実行プラン」

愛国心・郷土愛の記述強制

少数説・複数説記載―南京大虐殺・従軍慰安婦否定論

②「高校無償化 所得制限」導入

(3) 安倍内閣の「憲法」をめぐる情勢

①自民党憲法改正草案(2012(H24)年4月発表)

国民主権・基本的人権・平和主義の後退、否定

②第96条改定―多くの反対で尻すぼみ

③特定秘密保護法の強行採決

必要な情報が隠され、国民主権・平和主義の形骸化

④集団的自衛権の行使容認

通常国会への「国家安全保障基本法案」上程

→「戦争できる国づくり」へ